



一般社団法人北海道国際流通機構のご紹介



流通機構のホームページはこちらから

1. 機構役員と会員



○基金出資者一覧

国内担当	担当業務
鳥取 義之 (代表理事)	全体の統括
株式会社弘と通商 (理事)	ロジスティクス業務
釧路総合印刷株式会社	広告物作成等
株式会社北海道新聞社 (理事)	広告活動
海外営業担当	担当国
有限会社マック・プランニング	香港
株式会社スリーサークル	台湾
喜徳洋水産有限公司	台湾
株式会社タクミナフード	台湾
世邦国際集運股份有限公司	台湾
日本物産貿易株式会社	台湾
PRIME STREAM Asia PTE.LTD	シンガポール
株式会社インワールド (理事)	シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、中国
株式会社イークラフトマン (理事)	ベトナム
旭川第一物産株式会社	中国
Best Solution Partner	韓国
越境EC担当	担当業務
株式会社コスミックコミュニケーションズ (理事)	越境EC、クラウドファンディング
株式会社北国からの贈り物	越境EC、海外物産展

輸出
支援



販売
支援



2. 会員（企業・自治体・賛助）

○企業会員 116社 ※企業名は非公開

○自治体会員 16自治体

<市>

- 旭川市 ○網走市 ○石狩市 ○江別市 ○小樽市 ○北見市
○釧路市 ○札幌市 ○根室市 ○函館市 ○紋別市 ○留萌市
○苫小牧市

<町>

- 森町 ○ニセコ町 ○枝幸町

○賛助会員 1自治体・6団体・1大学・20企業・1個人

<自治体・団体・企業>

- 札幌商工会議所 ○旭川商工会議所 ○一般社団法人寒地港湾技術研究センター
○一般社団法人北海道中小企業家同友会とから支部 ○北海道大学(石川満壽夫氏)
○北海道よろず支援拠点 ○三井住友銀行 ○北洋銀行 ○北海道テレビ放送 ○JTB北海道
○日本航空 ○凸版印刷 ○伊藤組 ○サッポロ不動産開発 ○CAMPFIRE ○ノースエナジー
○ケイズプランニング ○ウイングス北海道 ○オフィスACT ○たけむら ○ティーピーパック
○日本郵便 ○RMS経営 ○ウェイツ ○山内克洋 ○オリックス ○ヤマトホームコンビニエンス
○苫小牧埠頭

【平成30年4月13日(金)現在】 2

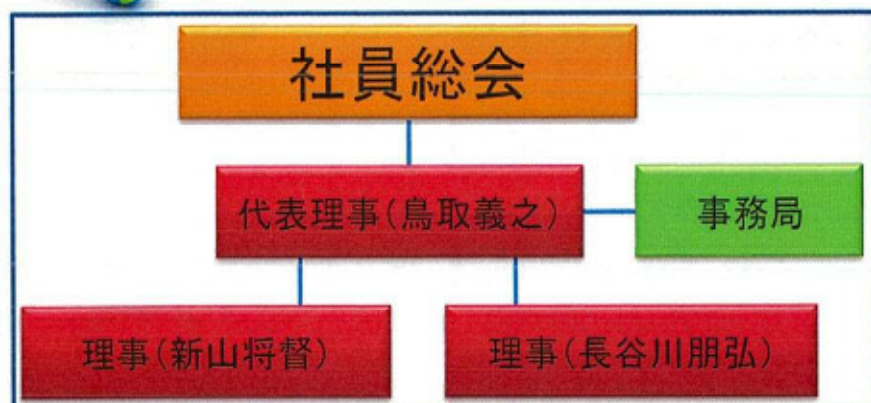


3. 輸出促進検討委員会

- 行政関係者や有識者で構成する輸出促進検討委員会を設置。
○委員会は、機構による輸出促進に関して助言及び意見交換を行う。



機構の組織図



【委員会の参加団体】

- 北海道開発局
○北海道経済産業局
○北海道農政事務所
○北海道
○北海道商工会議所連合会
○北海道経済連合会
○札幌商工会議所



輸出促進に関する助言等

輸出促進検討委員会

行政・公的団体等で構成



4. 機構が解決できること

■輸出の障壁1.2.3.4:リスク・知識

○海外での高い**営業コスト**

渡航費や商談参加費など費用が掛かりすぎる

○海外での**代金の回収**

海外との取引で代金を払ってもらえなかったと聞いたことがある

○複雑な**輸出手続き**

インボイスや輸出条件・必要書類など、自社ではやってくれる人がいない

○取引が**長続きしない**

海外の買手も取引先は距離の近い相手としたいものです。

メールなどでの会話出来るなら良いのですが・・・

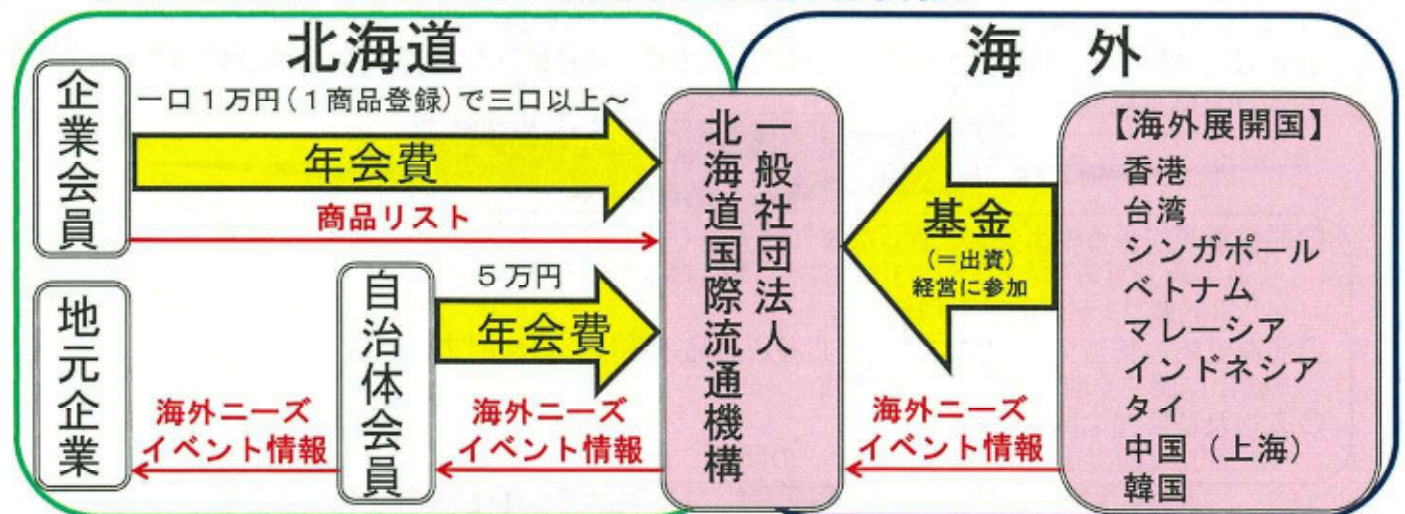
解決のためのオープンプラットフォーム

一般社団法人北海道国際流通機構

4

5. 機構のしくみ

○HOP推進協議会の民間企業が中心となり、平成29年4月に一般社団法人北海道国際流通機構を新設



○機構による解決策

- ①代金は安心の前払い
- ②海外への営業不要
- ③面倒な輸出手続き不要

【利用者の声】

- 海外輸出が年会費30,000円でトライできるのは嬉しい。
- 海外に担当者がいてくれるので、旬な情報が手に入った。
- 前入金で支払ってくれるから、国内取引よりも好条件だね。
- 煩雑な書類作成に手間取った経験があるからこれは便利。
- 輸出のプロがいるから任せて安心だった。
- 商品登録したら、香港から早速、注文が入った。

5

6. 会員による輸出事例

① 企業会員との連携事例

○北海道コカ・コーラボトリング株式会社の北海道限定スリムボトル250mlを、シンガポールのネットショッピングサイトで販売。(商品の総重量は約2t)



北海道限定スリムボトル250ml

○いわみざわ農協の玉ねぎ約4tを台湾に輸出。また、玉ねぎとじゃがいも計約3tを香港に輸出。



いわみざわ農協の玉ねぎ

② 自治体会員との連携事例

- 平成29年6月2日(金)～13日(火)の12日間、機構と自治体会員の函館市が連携し、台湾の老舗百貨店である遠東百貨にて、函館物産展を開催。
- 機構社員の株式会社スリーサークルが、遠東百貨を函館市に紹介して開催が実現。オープニングイベントには、工藤函館市長が参加し、現地メディアにも大きく取り上げられた。
- 会場は遠東百貨の地下噴水広場であり、人通りが多く、地下鉄駅直結の好立地。
- 12日間における総売上高は約600万円(日本円で約2,220万円)。

オープニング
イベント



物産展の様子



現地テレビ局
による取材



6

7. 連携協力協定の締結

国土交通省北海道開発局

- 【目標】「食の海外展開」及び「世界水準の観光地の形成」(第8期北海道総合開発計画)
- 【強み】物流基盤に関する知見及び観光等の各分野における地方自治体とのネットワーク

一般社団法人北海道国際流通機構

- 【目標】道内企業のサポートによる北海道産品の輸出促進
- 【強み】海外経験の豊富な社員及び輸出業務に関する知見

連携協力協定の締結 (平成29年6月16日(金))

- 開発事業に係る輸出促進を通じた観光振興及び地域振興に関する取組
 - ・「道の駅」や「みなとオアシス」における「海外おみやげ宅配便」の導入
 - ・小口混載コンテナ輸出の取組
- 北海道内の地方公共団体に対する北海道産品の輸出支援に関する取組
 - ・輸出に関する地方自治体への助言
- 広報及び啓発に関する取組
 - ・北海道の輸出促進に関するセミナーの開催 ...等



7